

1階病棟バスハイク ～のと鉄道に乗って～

保育士 橋本有加

天気にも恵まれた10月。待ちに待ったバスハイク！ほとんどの患者さまが生まれて初めてののと鉄道に乗車して中島までの列車の旅。

七尾駅構内につくと周りをキョロキョロと見渡している患者さま。どんな気持ちでしょうか。ドキドキわくわく？それとも不安…？

のと鉄道に乗るために親子で切符券売機の前に行き切符を購入。患者さまたちは興味津々に券売機を見ていました。

ホームに列車が入ってくると、患者さまも家族の方もウキウキ度が増し「きたよ！」と楽しそうな会話が七尾駅中に響き渡ります。もう、“楽しみ”の一言に尽きるかのように童心に戻ったような笑顔でいっぱいでした。

ホームに出ると『花咲くいろは』のラッピングと『永井豪』のキャラクターラッピングの列車が見え、テンションの上がる一瞬！みんなで記念撮影会の始まりです。

駅員さんの手伝いもあり、スムーズに乗車ができ、のと鉄道の中は思った以上に広くて車椅子で乗車の患者さまでもゆったりと過ごせました。

列車の中ではレクリエーションは行わず、家族と過ごす時間・会話・景色を楽しむことにしてもらいました。手を握りながら窓の外を見たり、顔を見合わせて笑いあう、気持ち良い揺れに眠たそうにする子どもの頭をなで体を寄り添わせたりとほほえましい光景が見られました。ご家族の方からは「ゆっくりした時間が取れた」「親子で初めて電車に乗った」「楽しかった」という喜びの意見が多く聞かれました。

1階病棟では、毎年4回バスハイクを行っています。院外へ3回、院外に出られない方のための院内バスハイクを1回行っています。毎回どうしたら楽しんでもらえるかと考えていますが、今年度初めて試みたのと鉄道での列車の旅で、レクリエーション中心だけでなく家族とのゆっくり過ごす時間も大切だと改めて感じました。

今後も患者さまとご家族のふれあいの場が持て、さらに笑顔が多くみられるような療育や行事を考えていきたいと思っています。

